

自然エネルギー活用に積極的な高知県梶原町を訪問しよう

高知県梶原町は電気の27%を自然エネルギーで賄っています。町役場や農協が入る町総合庁舎は、外壁や内部の大部分に町産のスギ集成材を使い、80キロワットの太陽光発電を備えた町のシンボリックな建物。災害時の避難場所に使えるようになっています。矢野富夫町長は「町にある資源を活かすことが大事です。環境問題に取り組むことで住民生活の利便性向上につなげる“共生と循環社会”を目標に掲げています。電気と燃料を町で生み出すと災害時のライフラインの確保の上でも役立ちます」と語っています。

県境の山頂にある町営の風力発電所、梶原川の段差を利用して毎時53キロワットを出す水力発電所、個人住宅や公営施設に設置した太陽光発電装置など、風、水、太陽を電気に変えています。

出発日:2011年12月11日(日) 8時発~12時着 (町役場に駐車可)

訪問・視察時間:1時間30分 (ガイド付き)

現地郷土料理店「和の里」で昼食(代1,050円)

訪問方法:車に分乗(宣伝カーなど)、個人参加も可

高知県梶原町までは車で4時間近く必要です。費用を抑えるためにできるだけ車(宣伝カーなど)に分乗する方法をとりたいと思います。高速料金や燃料費は割り勘となります。必ず事前に県労会議までお申し込み下さい。現地では商工会議所のガイド(費用は実行委員会負担)さんが案内をしていただけます。尚、参加費として保険料が50円必要です。

以下、申込書 (事務局:岡山県労会議 FAX086-221-3595、TEL086-221-0133)

申込はお一人でもグループでもかまいません。個人参加を希望される方は車に○を

お名前	ご住所(団体など)	連絡先(電話など)	車

第一次申込〆切は12月1日(木)